

おおきく**成長**できた2学期・81日間！

～コロナもインフルもあったけど～



8月25日に2学期がスタートしてから今日まで、81日間の授業日数となりました。と言っても、後半は新型コロナウイルスや季節はずれのインフルエンザの流行があり、10月下旬から11月下旬にかけて、入れ替わりで多くのクラスが学級閉鎖となったため、81日間フルに「出席すべき日数」となったのは、1/3程度でした。感染力の強さなのか、子どもたちの抵抗力が低下しているのか、様々なことが言われていますが、「インフルエンザは冬に流行する」という定説も当てはまらない、たいへんな時代だと感じます。マスクを外した子どもたちの笑顔を見ることができるよう場面が増えたとは言え、基本的な感染症対策の強化はまだまだ続きそうです。それでも本校生徒たちは、今学期も元気いっぱい乗り越えることができていました。

2学期というと、一年間の中でも大きな行事が多く予定されている学校の繁忙期です。諸活動における制限はかなり緩和され、保護者の皆様にもそれらをご参観いただける機会もかなり増えました。何より、生徒たちが生き生き、伸び伸びと活動している姿をみられることが、学校が学校らしさを取り戻してきたという実感につながります。特に、本校の伝統である合唱活動が復活できたことは、大きな喜びです。

9月の『東輝祭』をはじめ、10月は『新人戦』、11月は『合唱コンクール』、12月は『生徒会役員選挙』と毎月大きな行事が続いた2学期。その合間にも定期テストや授業参観、自転車安全教室、防災訓練、講演会など、本当に忙しい日々だったと思います。また、3年生においては、進路選択の決断もしなければならない時期でもあり、悩ましい日々であったことでしょう。でも、本当によく頑張りました。東中生は、こういった行事の取組を通して、個々が成長し、集団が団結力を高め、東中の文化を築き継承しています。4年間のコロナ禍を乗り越え、今また新しい東中の歴史が刻まれた2学期と言えるでしょう。

明日から13日間の冬休みになります。この期間に2学期を、また2023年の一年間を振り返って、成果と課題を確認してください。そして、3学期の抱負、来年の抱負や目標について、家族で話し合ってみてください。1月9日には、全員元気に再会できるよう、健康・安全には十分留意して有意義に過ごしてください。

「税の作文」表彰式がありました！

中学生の「税についての作文」において本校1年生・立川諒さんの『税金との出会い』が東京税理士会甲府支部長賞に、同じく1年生・千須和蒼河さんの『家族の笑顔と税金』が甲府税務署管内納税貯蓄組合連合会最優秀会長賞に輝き、その表彰式が12月8日に本校校長室にて行われました。

当日は甲府税務署の方が、賞状などを直接お渡ししたいとおいでくださいました。二人を代表して、立川諒さんが表彰を受け取りました。



表彰を受ける立川さん

おめでとうございます！

豆知識

初夢占い

もうすぐお正月ですね。お正月には「今年一年が良い年でありますように」と縁起を担いだり、占ったりする風習がいろいろあります。

「一富士・二鷹・三茄子（いちふじにたかさんなすび）」という言葉を知っていますか？これはお正月に見ると縁起がよいと言われる初夢のことです。なぜ良いかというと、これには諸説ありますが、「富士は『無事』、鷹は『高い』、茄子は『事を成す』」という縁起のよい言葉の語呂合わせという説が有力なようです。

そして、この言葉には続きがあって、「四扇・五煙草・六座頭（しおうぎ・ごたばこ・ろくざとう）」と言います。一富士二鷹三茄子と四扇五煙草六座頭はそれぞれ対応していて、富士と扇は末広がり子孫や商売などの繁栄を、鷹と煙草の煙は上昇するので運氣上昇を、茄子と座頭は毛が無く、「毛がない＝怪我ない」とのことです。

皆さんの新年が「無事で高い成果を成し遂げる」年となることをお祈りします。

よいお年を迎えてください。

